

令和7年度 看護師養成所自己点検・自己評価結果

独立行政法人国立病院機構 舞鶴医療センター附属看護学校

近畿グループ附属看護学校4校の副学校長・教育主事・教員による相互評価を実施した。閉校に向け、改善すべき内容を検討しながら、教員が協力して、個別性に応じた教育が実践できているとの評価を受けた。特に学生の主体性を高めるための効果的なかわりについて評価をいただいた。今年度は、①実習におけるルーブリック再検討による統一化された評価基準の共有、②看護実践能力向上に向けた看護技術の質的評価、③教員間の連携強化のためのスケジュールの可視化、④チューター制の導入など国家試験合格に向けた支援の4点について重点的に取り組んだ。次年度の閉校に向け、評価結果をもとに、維持・改善に向け、今後も組織的に活動を行っていく。学生全員の卒業、国家試験合格に向け、教員全員の連携、協力による個別性に応じた質の高い教育を継続していくことが求められている。

カテゴリー	評価の概要	令和7年度		令和6年度	
		自己評価	他者評価	自己評価	他者評価
I 教育理念・目的	学校の教育理念・教育目的は明文化され、教職員および学生に浸透し、卒業時点での学生像に反映されているかについて評価します。(6項目)	3.0	3.0	3.0	3.0
II 教育目標	教育理念・目的・教育目標の一貫性および卒業後教育との継続性を考慮した目標設定であり、教員・学生が共有できているかについて評価します。(6項目)	3.0	3.0	3.0	3.0
III 教育課程	教育課程の編成について独自性、整合性、ニーズへの対応などの観点から科目が挙げられているか、講義・実習の内容に妥当性があり、教育の質向上のために工夫し、計画的に進められているのかについて評価します。(26項目)	3.0	3.0	2.9	2.9
IV 教育課程評価	自己および学生による授業評価の実施と改善の取り組み状況について評価します。(6項目)	3.0	3.0	2.8	2.8
V 学校組織	学校の組織体制について人員配置および意思決定システムが適性であるかについて評価します。(7項目)	3.0	3.0	3.0	3.0
VI 入学生の受入れ	自校の教育理念に基づいた入学選抜試験の適正な運用と実施状況の分析、検証状況について評価します。(5項目)	3.0	3.0	3.0	3.0
VII 学校生活支援	学生の生活支援体制について、健康管理、プライバシー保持、自治会活動、関係者との調整の観点から整備されているかについて評価します。(12項目)	3.0	3.0	3.0	3.0
VIII 卒業生の進路 (卒業・就業・進学)	卒業時の到達状況、進路、国家試験の合格状況を分析し、教育活動に生かしているかについて評価します。(7項目)	3.0	3.0	2.9	2.9
IX 教員の研究活動	教員の研究活動の実施状況および支援体制について評価します。(4項目)	3.0	3.0	3.0	3.0
X 社会への貢献・公開講座 (地域交流・国際交流)	公開講座やボランティア等、地域社会のニーズを踏まえた社会貢献、近隣関連施設との情報交換等、地域との交流状況、また、国際的視野をふまえた教育体制等について評価します。(7項目)	3.0	3.0	3.0	2.8
XI 施設と設備	施設設備などの学習環境の整備状況について評価します。(7項目)	3.0	3.0	3.0	3.0
XII 学校経営・管理過程	教育活動について将来構想をもとに計画的に管理・運営しているかについて評価します。(7項目)	3.0	3.0	3.0	3.0
XIII 学校評価システム	自己点検・自己評価システムの整備状況や運用について評価します。(5項目)	3.0	3.0	3.0	2.8

